

お送りいただいた資料、しらべました。

- ① 毛虫はマイマイガの幼虫、これから成長して、6cmほどになります。カラマツ林でよく大発生します。北海道では、ミズナラの森でときに大発生します。ブナの森での大発生は、聞いたことがありません。

- ② 虫こぶはナラエダゴブフシ(通称)、原因はタバタチの寄生によるものです。ナラには、ほかに、さまざまな虫こぶが出来ますが、すべて、タバタチによるものです。ナラエダゴブフシは、あまりありません。以上

虫こぶのこと

6/11

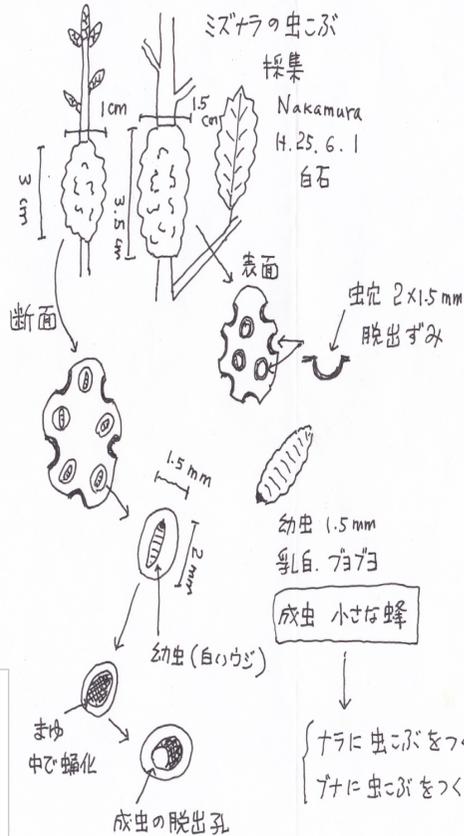


仲村さんが西口先生に鑑定以来した毛虫の写真



仲村さんが西口先生に鑑定以来した虫こぶの写真がなかったので、23日に撮った写真です。去年できたミズナラの虫こぶの先が落ちてしまった様。

ナラエダゴブフシ(通称)
タバタチ科



毛虫 (ブランコケムシ)
マイマイガ

広食性 (樹木ほら、なんでも食べる)
餌植物として、100種ほど記録

北海道での私の飼育実験

- ① 幼虫がよく発育する樹
ホトテラ、ヤマナラシ、ミズナラ、カラマツ
- ② 幼虫の発育不良
イタヤカエデ、ハルニレ、オオバホダイシロ、カハルハシ
- ③ 幼虫は発育できぬ (途中で死亡)
ヤチガモ、ウダイカンバ、ドロキ

ヨーロッパの文献

ナラ(オーク)の森でよく大発生 (45年ぶりに)
ブナの森で、ときに大発生 (1年2年おき)

{ ナラに虫こぶをつくる — タバタチ } 各種あり
{ ブナに虫こぶをつくる — タバチ }